

健康のひろば

-30-

地元の医師がアドバイス

—まぶたの奥に油分などを出す小さ
きなしこりがでな穴にばい菌が入つ
き、触っても痛くて化膿して腫れるも
ないため、もらいものかもと放つて腫れて痛くなりま
す。おいたのですが、

たんだん大きくなつて、いるようです、取り除いたほうがよいのでしょうか。

治療としては、はい菌を殺すための薬を用います。通常は目薬で治しますが、程度によっては目薬や塗り薬、飲み薬などを使い分けます。また、瞼がたくさん溜まっている場合は少し切開して瞼を出した方が良い場合もあります。

これに対しても、見

症を起こすもので、炎症性肉芽腫といわれます。中に粥状の塊などが溜まった状態になっています。そこにはい菌がついて「ものもらい」のように痛くなることがあるため、完全に「ものもらい」とは区別できないこともあります。

原因は油分の変性と炎症ですので、「ものもらい」のときと同じばい菌を殺すための薬だけではなくなかなか治りません。通常は、炎症を抑えるようなお薬と一緒に用います。治療の期間も数ヶ月間以上とか数ヶ月じ

酔の注射をしたうえでメスなどで切開して中身を掻き出すような治療が必要になります。傷が大きい場合には傷口を縫い合わせます。また、小さな子供の場合には全身麻酔が必要となることもあります。

者の場合は、脂腺癌などの悪性の病気の可能性もあるため治療が悪い場合や切開しても同じ場所に繰り返す場合は早めに眼科医にご相談ください。

(なよろ眼科院長・

開院
※十一月十五日(火)

が長くなることもあります、赤く大きくなっているのでなければしばらく様子をみてもかまいません。

小さなものであれば、自然と治ることもあり様子を見てもかまいませんが、大きくなってきたりひどく腫れてくる場合は早めに眼科を受診することをお勧め致します。なお、高齢

開院

まぶたの奥のしこり!!

また、膿がたくさん溜まっている場合は、「ものもらい」の少し切開して膿を出した方が良い場合もあります。これに対して、見

ひとく腫れでいる場
合には、部分的に麻

の奥のし
ます。なお、高齢
する」とをお詫び致
します。

開院